

## 環境関連

### 2015年度の活動目標・実績と2016年度の目標

○:達成 △:わずかに届かず ×:大きく未達成

課題	2015年度の目標・計画	2015年度の実績・成果	評価	2016年度の目標
環境負荷の適切な把握				
	●ISO14001 2015年版への移行完了	●ISO14001 2015年版へ移行完了 (2016年2月)	○	●更新審査での推奨事項の拡大、指摘事項の削減
エネルギー効率の向上と再生可能エネルギーの導入				
	●エネルギー原油換算使用量を1%削減 ●LED照明の導入拡大	●エネルギー原油換算使用量を1%削減 ●各店改装時にLED照明へ交換	○	●エネルギー原油換算使用量を1%削減 ●LED照明の導入拡大継続
廃棄物の削減と循環型社会の構築				
	●食品廃棄物リサイクル率:55.0% (前年+0.3%) ●廃棄物リサイクル率:62.5% (前年+0.4%)	●食品廃棄物リサイクル率:55.6% (前年+0.9%) ●廃棄物リサイクル率:60.8% (前年▲1.3%)	△	●食品廃棄物リサイクル率:56.0% (前年+0.4%) ●廃棄物リサイクル率:63.0% (前年+2.2%) ●分別細分化による廃棄物リサイクル率の向上
生物多様性への対応				
	●グリーンラッピングなどの取り組みによる植樹:1,850本	●植樹:1,760本 植樹先:岩手県宮古市 ●社員ボランティアによる植樹活動実施	△	●植樹:1,870本 ●グリーンラッピングで贈る記念日ギフトの推進:67,000件 ●社員ボランティアによる植樹活動実施
環境に配慮した商品の提供				
	●環境商品新規選定:30品目	●新規選定:52品目	○	●新規選定:30品目 ●オーガニックコットン商品(ベビーウェア・タオル等)のご紹介を強化
従業員への意識啓発				
	●環境e-ラーニング:全従業員受講 ●全従業員を対象とした「節電応援キャンペーン」達成報告者:60人	●環境e-ラーニング:全従業員受講 ●節電応援キャンペーン達成報告者:108人	○	●環境e-ラーニング:全従業員受講 ●節電応援キャンペーン達成報告者:150人 ●エコ検定受験者:46名 合格率:90%

### 環境関連データ

課題	単位	2013年度	2014年度	2015年度
店舗数	店舗	24	24	24
CO <sub>2</sub> 排出量 <sup>*1</sup> <sup>*2</sup> <sup>*3</sup>	t-CO <sub>2</sub>	197,747	194,315	193,101
店舗運営に伴うCO <sub>2</sub> 排出量 <sup>*1</sup> <sup>*3</sup>	t-CO <sub>2</sub>	196,992	193,578	192,417
店舗運営に伴う電気使用量 <sup>*1</sup>	GWh	346	341	339
店舗運営に伴う水使用量 <sup>*1</sup>	千m <sup>3</sup>	2,354	2,265	2,262
容器包装使用量	t	1,493	1,465	1,432
廃棄物量(リサイクル率)	t(%)	30,981(62.0)	30,880(62.1)	31,334(60.8)
食品廃棄物のリサイクル率	%	54.4	54.7	55.6

\*1 集計期間は4月~3月。

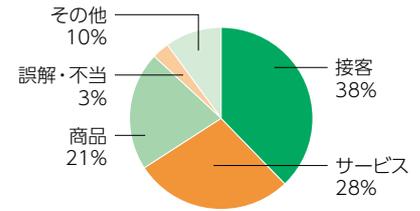
\*2 店舗運営・法人外商部・本部・物流センターの運営に伴うエネルギー使用に由来するCO<sub>2</sub>排出量。

\*3 CO<sub>2</sub>排出量は「セブン&アイHLDGS.グループ共通CO<sub>2</sub>排出量算定マニュアル」に沿って算出しています。

お客様相談受付関連データ

2015年度も引き続き「お客様の声」から、接客サービス・オペレーションに関する課題の発生原因を分析し、お客様のご不満の解消と、顧客ニーズを営業施策に反映するための活動を推進してきました。また、お客様に喜んでいただいた事例は、社内報などに定期掲載し、上質な接客サービスを積極的に情報共有しました。  
今後も、「お客様の声」からご要望を分析し、店舗と本部が連携して、対応を強化してまいります。

2015年度相談内容の内訳  
受付件数10,471件(前年度比98%)



2015年度の活動目標・実績と2016年度の目標

○:達成 △:わずかに届かず ×:大きく未達成

課題	2015年度の目標・計画	2015年度の実績・成果	評価	2016年度の目標
商品とサービスの品質・安全性の確保				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●異物混入防止活動の強化</li> <li>●衣料・雑貨領域のPB商品を対象とした検品体制の継続</li> <li>●教育体制のレベルアップと資格取得の推奨</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全店特別点検を実施</li> <li>●お取引先説明会を開催</li> <li>●新ブランドを中心に納品前検品を205回実施</li> <li>●現場メンバースキルアップのために階層別研修を実施</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小冊子「食品衛生管理の基本ポイント」を活用した現場メンバーの衛生管理知識向上</li> <li>●衣料・雑貨領域のPB商品を対象とした検品体制の継続</li> <li>●現場メンバースキルアップのために階層別研修を継続</li> </ul>
安心して利用できる店舗・設備の整備				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多目的トイレの扉を開閉しやすく改修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多目的トイレの扉を開閉しやすく改修(神戸店)</li> <li>●多目的トイレの新設(柏店)</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多目的トイレへの長時間使用警報装置の新設</li> </ul>
適切な情報提供				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●専門機関と提携した「食品表示」および「衣料・雑貨領域のPB商品表示」点検の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各拠点(売場・厨房)を対象に専門機関点検を3回実施</li> <li>●随時、PB商品の納品前点検を実施</li> <li>●定期的に、PB商品の店頭点検を実施</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>●専門機関と提携した「食品表示」および「衣料・雑貨領域のPB商品表示」の確認・点検を実施し、適切な表示と情報開示を継続</li> </ul>
お客様の声への誠実な対応(体制)				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「お客様の声」からご要望を分析し、店舗と本部が連携して、さらなる従業員のサービスマインドの向上を推進</li> <li>●お客様からのご不満の声の削減:5,384件以下</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「お客様の声」を活かした活動を継続的に実施し、お客様からのご不満の声を前年より改善</li> <li>●お客様からのご不満の声:4,689件(前年差▲695件)</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「お客様の声」からご要望を分析し、店舗と本部が連携して、さらなる従業員のサービスマインドの向上を推進</li> <li>●お客様からのご不満の声の削減:4,689件以下</li> </ul>

2015年度の活動目標・実績と2016年度の目標

○:達成 △:わずかに届かず ×:大きく未達成

課題	2015年度の目標・計画	2015年度の実績・成果	評価	2016年度の目標
育児・高齢者支援など	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プレママステーション、カウンターの継続と親子(母子、父子)で参加できるイベントの開催</li> <li>●助産師に寄せられた声をもとにした商品開発</li> <li>●専門販売員の新規育成 シューフィッター:15人 フォーマルスペシャリスト:10人 ハートフルアドバイザー:15人 認知症サポーター:1,650人</li> <li>●こども靴下取り足数:90,000足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プレママステーション、カウンターにて「育児相談会」「沐浴教室」などの親子参加イベントを実施</li> <li>●助産師に寄せられた声をもとにスリーパー、枕など4アイテムを新規開発</li> <li>●新規育成 シューフィッター:13人 フォーマルスペシャリスト:11人 ハートフルアドバイザー:15人 認知症サポーター:2,606人</li> <li>●こども靴下取り足数:92,462足</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プレママステーション、カウンターの継続と親子参加型イベントの開催</li> <li>●助産師に寄せられた声をもとに開発した商品の販売強化と2017年新規商品化に向けた開発着手</li> <li>●新規育成 シューフィッター:10人 フォーマルスペシャリスト:5人 ハートフルアドバイザー:15人 認知症サポーター:4,000人</li> <li>●こども靴下取り足数:95,900足</li> </ul>
地域活性化への協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域と密着したイベントを継続実施</li> <li>●地場企業との協業で地域の伝統技術や製品を取り入れ、店ごとに違った開発商品を加えた「リミテッド エ디션 エリアモード」を展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「グリーンカーテンプロジェクト」「打ち水大作戦」などの地域イベント(各店)</li> <li>●地元神奈川の水資源を考える水育イベント(東戸塚店)</li> <li>●地元食材を使ったウォームシェア「鍋」イベント(福井店、秋田店、船橋店)</li> <li>●神奈川県連動「未病フェア」(横浜店、東戸塚店、小田原店)</li> <li>●地元の女子高生が考案するクールビズファッションショー(船橋店)</li> <li>●15店舗で「リミテッドエ디션エリアモード」を展開</li> <li>●全国の「リミテッドエ디션エリアモード」商品を一堂に集めてフェアを開催(池袋本店、横浜店)</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域と密着したイベントを継続実施</li> <li>●期日前投票所設置による投票時の利便性向上</li> <li>●さらなる地域資源、地域職人と協業したモノ作りを行い、店舗ごとに違う、お客様の声に基づいた商品開発、品揃えを実施</li> <li>●地域限定の商品をネット販売を使って拡大し、全国のお客様に向けた販売を強化</li> </ul>
災害時の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地震災害時「帰宅困難者対策」を含めた自治体や地元企業との連携・協力体制の継続</li> <li>●「防災フェア」などの開催を通じた防災への意識啓発活動の推進</li> <li>●千葉県との「地域包括協定」締結による地域活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●店舗所在地自治体などの参加で運営されている「帰宅困難者対策協議会」へ参画すると同時に合同訓練などへ参加</li> <li>●地域住民への意識啓発活動の一環として、主に神奈川県と連携した「防災フェア」を開催</li> <li>●2015年7月30日に千葉県、11月18日には千葉市と「包括提携協定」を締結し、行政と連携した取り組みを開始</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地震災害時「帰宅困難者対策」を含めた自治体や地元企業との連携・協力体制の継続</li> <li>●「防災フェア」などの開催を通じ、地域と連携した防災への意識啓発活動を推進</li> <li>●締結した「地域包括協定」に基づく地域活性化への関与増強</li> </ul>
地域防犯対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域と連携した防犯・防災体制へ継続的に協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域で開催された「防災訓練」や「防犯パトロール活動」などへ参加</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域と連携した防犯・防災体制へ継続的に協力</li> </ul>

2015年度の活動目標・実績と2016年度の目標

○:達成 △:わずかに届かず ×:大きく未達成

課題	2015年度の目標・計画	2015年度の実績・成果	評価	2016年度の目標
能力向上支援	●個々の基礎能力向上および専門資格取得拡大に向けた「自主売場研修の受講促進」と「キャリアアップ講座受講促進」により、延べ3,000人新規受講	●新規受講:2,865人 自主売場研修:延べ1,806人 キャリアアップ講座:延べ1,059人	△	●新規受講:2,900人 自主売場研修:延べ1,900人 キャリアアップ講座:延べ1,000人
ワークライフバランスの実現	●育児支援とマネジメントの理解浸透に向けた「出産・育児」支援ハンドブックの発行	●「出産・育児」支援ハンドブックを発行(2015年9月) ●労使連携の育児休職者座談会を開催	○	●女性活躍推進法に基づく「えるぼし」企業の認定申請 ●育児・看護・介護休暇(有給)取得者拡大に向けた体制整備
多様な人材の活躍	●契約社員からの正社員登用数:30人 ●専門人材の中途採用数:5人 ●女性管理職比率(課長級以上):20%	●契約社員からの正社員登用数:42人(女性32、男性10) ●専門人材の中途採用数:15人 ●女性管理職比率(課長級以上):14.6%	△	●契約社員からの正社員登用数:40人 ●専門人材の中途採用数:10人 ●女性管理職比率(課長級以上):20%
労働安全衛生への配慮	●健康診断後フォローアップの全店統一化(メタボ、受診勧奨などに関する数値の統一を含める) ●メンタル疾患社員に対する職場復帰支援プログラムの確立	●健康診断後の個別対応を把握し、事後措置の統一化を促進 ●職場復帰支援プログラムのモデルを作成し、本部で活用	○	●職場復帰支援マニュアルの作成と職場復帰支援プログラムの全事業所での活用

人事関連データ

従業員の内訳(2016年2月末)	(人)
正社員 <sup>※1</sup>	4,068
男性	2,806
女性	1,262
パートタイマー <sup>※2</sup>	4,358
従業員数(正社員数+パートタイマー数)	8,327
新卒採用者数	54
中途採用者数	15
再雇用者数 <sup>※3</sup>	69

※1 定年再雇用者を含みます。  
 ※2 1日8時間換算による月平均人員。契約社員を含みます。  
 ※3 定年再雇用者数。  
 ※4 該当年度中に取得した人数。(前年からの継続+新規取得)  
 ※5 係長級以上の比率。  
 ※6 年度の数値は翌年度の6月1日現在の数値。

	2013年度	2014年度	2015年度
正社員平均勤続年数	22年0カ月	22年0カ月	22年9カ月
育児休職取得者数 <sup>※4</sup> (うち男性、パートタイマー)	213人(1、92)	193人(7、85)	192人(4、69)
介護休職取得者数 <sup>※4</sup> (うち男性、パートタイマー)	9人(0、5)	6人(0、5)	2人(2、0)
ボランティア休暇取得者数	制度なし	制度なし	制度なし
女性管理職比率 <sup>※5</sup>	20.7%	23.1%	33.2%
障がい者雇用率 <sup>※6</sup>	2.04%	2.04%	1.97%
正社員有給休暇取得率	14.0%	6.6%	19.7%
労働災害発生数	0.29	1.04	0.29
労働災害強度率	0.003	0.02	0.01

従業員相談受付関連データ

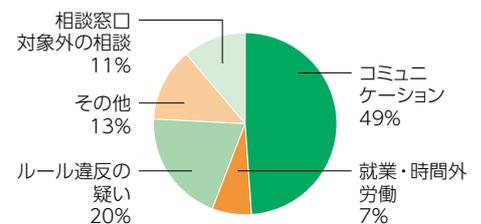
今期の受付件数は、前年度比で50%増加。その内訳としては、相談内容別の件数に関し重複した内容の相談が数件発生したこともあり、一部を除いてほぼ全て増加しました。ただし、重大なルール違反の疑いに関わる通報、直ちに是正を要するコミュニケーション・ハラスメントなどの通報はありませんでした。直近に実施した各店でのコンプライアンスなどの研修において、何か些細と思われる問題でも気付いたことがあった場合は積極的に内部通報を活用するよう呼びかけを行った結果、着実に内部通報への関心が高まったことによる件数増加が含まれていると捉えています。

また、職場環境・人間関係などに関わる相談件数の増加に関しましては、職場内のコミュニケーション不足の解消にまだ課題が残っていると考えられるため、引き続き、現場のマネージャーに対し、メンバー間の意思疎通の重要性の再認識と、十分に目配りした指導の必要性の再確認を啓発してまいります。

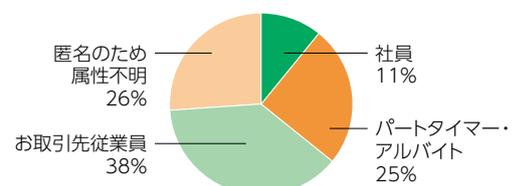
時間管理の問題につきましては、一昨年来重点的に取り組んだ結果、従業員の時間管理意識が着実に向上しており、相談内容別件数においても唯一減少しました。

なお、今期実施したコンプライアンスなどの研修は、現場における幹部クラス研修、新任研修、職務別研修に分けて実施。身近に発生し得るテーマについて顧問弁護士が講師となり実務的に活用できるように工夫した研修を実施しました。リスクマネジメントに直結するこれらの研修については、今後も継続して実施し、事故事件の発生および拡大防止につなげてまいりたいと考えます。

2015年度相談内容の内訳  
受付件数84件(前年度比150%)



相談者の内訳



# 環境関連データ(詳細)

## ■データ推移(2011年度～2015年度)

項目		2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
全社CO2排出量	t-CO2	173,868 ※2	188,486 ※1	197,747 ※1	194,315 ※1	193,101 ※1
店舗運営に伴うCO2排出量	t-CO2	173,365 ※2	187,831 ※1	196,992 ※1	193,578 ※1	192,417 ※1
店舗運営に伴う電気使用量	GWh	376 ※2	357 ※1	346 ※1	341 ※1	339 ※1
店舗運営に伴う水使用量	千m3	2,704 ※1	2,438 ※1	2,354 ※1	2,265 ※1	2,262 ※1
店舗運営に伴う廃棄物排出量	t	32,749	32,020	30,981	30,880	31,334

※1 2013年3月改定の「セブン&アイHLDGS.グループ共通CO2排出量算定マニュアル」による算定(集計期間:4月～3月、電気使用に伴うCO2排出係数:温対法と同値)

※2 改定前マニュアルによる算定(集計期間:3月～2月、電気使用に伴うCO2排出係数:0.391[t-CO2/千kWh])

## ■2015年度実績及び中長期目標

項目	2015年度実績	原単位 ※2	2015年度目標	評価 ※3	2016年度目標	2020年度目標	2030年度目標	
全社CO2排出量 ※1	t-CO2	193,101	114	193,343	○	179,506	156,266	146,333
店舗運営に伴うCO2排出量 ※1	t-CO2	192,417	115	192,610	○	178,829	155,615	145,774
店舗運営に伴う電気使用量 ※1	GWh	339	0.202	340	○	315	-	-
店舗運営に伴う水使用量 ※1	千m3	2,262	1.349	2,254	△	2,121	-	-
店舗運営に伴う廃棄物排出量	t	31,334	19	30,726	△	30,011	-	-
再生可能エネルギー利用量 (太陽光パネル設置による拡大)	MWh	27	0.016	27	○	27	31	35

※1 「セブン&アイHLDGS.グループ共通CO2排出量算定マニュアル」による算定(集計期間:4月～3月、電気使用に伴うCO2排出係数:温対法と同値)

※2 延床面積[千m2]当たり原単位

※3 ○:達成 △:わずかに届かず ×:大きく未達成

## ■2015年度店舗データ

店舗	CO2排出量 [t-CO2] ※	電気使用量 [GWh] ※	水使用量 [千m3] ※	廃棄物排出量 [t]
池袋本店	28,334	53	462	4,408
渋谷店	8,300	17	99	996
船橋店	7,784	17	85	637
所沢店	4,990	11	72	773
筑波店	4,125	7	36	400
東戸塚店	4,739	9	73	1,294
高槻店	5,680	12	86	1,311
八尾店	6,758	11	79	2,701
大津店	4,437	9	51	1,132
福井店	5,549	8	43	402
岡崎店	2,782	5	33	246
旭川店	5,620	8	41	438
秋田店	3,314	5	28	494
春日部店	5,412	9	50	517
小田原店	5,728	10	27	787
横浜店	17,398	32	241	4,122
千葉店	18,654	25	161	2,684
神戸店	8,231	16	116	1,643
広島店	13,577	18	124	1,509
大宮店	7,611	15	83	1,267
川口店	6,352	13	70	899
柏店	6,867	14	102	568
西神店	2,954	6	40	1,076
徳島店	7,218	8	58	1,032
店舗合計	192,417	339	2,262	31,334

※ 「セブン&アイHLDGS.グループ共通CO2排出量算定マニュアル」による算定(集計期間:4月～3月、電気使用に伴うCO2排出係数:温対法と同値)

## ■2015年度環境会計

環境保全コスト (百万円)		
投資額	経費額	主な内容
118 (786)	1,417 (1,383)	インバーター導入、空調機器更新 他
経済効果 (百万円)		
効果額	主な内容	
439 (479)	環境商材売上利益、インバーター導入による省エネ効果 他	
環境保全効果		
効果	主な内容	
電力 1,413 (1,897) [千kWh] 削減	インバーター導入・空調機器更新による省エネ効果 他	

※ ( ) 内は前年

## ■2015年度サプライチェーンを通じたCO2排出量

区分	カテゴリ	CO2排出量 [t-CO2]	
		CO2排出量	構成比
スコープ1	直接排出	10,812	0.5%
		(10,945)	(0.5%)
スコープ2	エネルギー起源の間接排出	182,781	8.3%
		(183,620)	(8.3%)
カテゴリ1	購入した製品・サービス	1,696,683	76.7%
		(1,708,546)	(77.2%)
カテゴリ2	資本財	37,317	1.7%
		(30,168)	(1.4%)
カテゴリ3	Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動	16,803	0.8%
		(16,844)	(0.8%)
カテゴリ4	輸送、配送(上流)	24,389	1.1%
		(24,410)	(1.1%)
カテゴリ5	事業から出る廃棄物	3,116	0.1%
		(3,188)	(0.1%)
カテゴリ6	出張	659	0.03%
		(689)	(0.03%)
カテゴリ7	雇用者の通勤	2,030	0.1%
		(2,051)	(0.1%)
カテゴリ8	リース資産(上流)	算定対象外	
カテゴリ9	輸送、配送(下流)	2,004	0.1%
		(2,010)	(0.1%)
カテゴリ10	販売した製品の加工	算定対象外	
カテゴリ11	販売した製品の使用	26,883	1.2%
		(27,798)	(1.3%)
カテゴリ12	販売した製品の廃棄	149,665	6.8%
		(147,679)	(6.7%)
カテゴリ13	リース資産(下流)	38,682	1.7%
		(38,924)	(1.8%)
カテゴリ14	フランチャイズ	算定対象外	
カテゴリ15	投資	算定対象外	
その他	従業員の家庭での電力使用による排出	19,370	0.9%
		(17,561)	(0.8%)
スコープ3	その他の間接排出	2,017,601	91.2%
		(2,019,868)	(91.2%)
合計		2,211,195	100.0%
		(2,214,433)	(100.0%)

※ ( ) 内は前年

# 環境関連データ(詳細)

## ■データ推移(2012年度～2016年度)

項目		2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
全社CO2排出量	t-CO2	188,486 ※1	197,747 ※1	194,315 ※1	193,101 ※1	171,689 ※1
店舗運営に伴うCO2排出量	t-CO2	187,831 ※1	196,992 ※1	193,578 ※1	192,417 ※1	171,049 ※1
店舗運営に伴う電気使用量	GWh	357 ※1	346 ※1	341 ※1	339 ※1	316 ※1
店舗運営に伴う水使用量	千m3	2,438 ※1	2,354 ※1	2,265 ※1	2,262 ※1	2,128 ※1
店舗運営に伴う廃棄物排出量	t	32,020	30,981	30,880	31,334	29,390

※1 2013年3月改定の「セブン&アイHLDGS.グループ共通CO2排出量算定マニュアル」による算定(集計期間:4月～3月、電気使用に伴うCO2排出係数:温対法と同値)

## ■2016年度実績及び中長期目標

項目	2016年度実績	原単位 ※2	2016年度目標	評価 ※3	2017年度目標	2020年度目標	2030年度目標	
								全社CO2排出量 ※1
店舗運営に伴うCO2排出量 ※1	t-CO2	171,049	107	179,507	○	153,260	148,708	145,774
店舗運営に伴う電気使用量 ※1	GWh	316	0.199	320	○	281	-	-
店舗運営に伴う水使用量 ※1	千m3	2,128	1.337	2,124	△	1,926	-	-
店舗運営に伴う廃棄物排出量	t	29,390	18	30,548	○	25,198	-	-
再生可能エネルギー利用量 (太陽光パネル設置による拡大)	MWh	27	0.017	27	○	27	31	35

※1 「セブン&アイHLDGS.グループ共通CO2排出量算定マニュアル」による算定(集計期間:4月～3月、電気使用に伴うCO2排出係数:温対法と同値)

※2 延床面積[千m2]当たり原単位

※3 ○:達成 △:わずかに届かず ×:大きく未達成

## ■2016年度店舗データ

店舗	CO2排出量 [t-CO2] ※	電気使用量 [GWh] ※	水使用量 [千m3] ※	廃棄物排出量 [t]
池袋本店	28,445	54	478	4,326
渋谷店	7,419	16	98	953
船橋店	7,248	17	80	554
所沢店	4,847	10	67	764
筑波店	3,877	6	31	422
東戸塚店	4,741	9	73	1,241
高槻店	5,240	12	69	1,209
八尾店	5,560	10	76	2,625
大津店	4,122	9	51	1,110
福井店	5,373	8	42	396
岡崎店	2,636	4	33	239
旭川店	2,232	5	23	267
秋田店	3,212	5	28	521
小田原店	3,018	6	18	330
横浜店	17,346	32	243	3,844
千葉店	18,519	26	177	2,600
神戸店	7,404	16	117	1,636
広島店	12,894	18	118	1,504
大宮店	7,072	15	86	1,242
川口店	5,808	13	74	907
柏店	4,571	10	53	624
西神店	2,634	6	39	1,062
徳島店	6,831	8	54	1,014
店舗合計	171,049	316	2,128	29,390

※ 「セブン&アイHLDGS.グループ共通CO2排出量算定マニュアル」による算定(集計期間:4月～3月、電気使用に伴うCO2排出係数:温対法と同値)

## ■2016年度環境会計

環境保全コスト (百万円)		
投資額	経費額	主な内容
242 (118)	1,389 (1,417)	LED導入、空調機器更新他
経済効果 (百万円)		
効果額	主な内容	
591 (439)	環境商材売上利益、LED導入での省エネ効果他	
環境保全効果 (百万円)		
効果	主な内容	
電力2,379 (1,413) [千kWh] 削減	LED導入・空調機器更新による省エネ効果他	

※( )内は前年

## ■2016年度サプライチェーンを通じたCO2排出量

区分	カテゴリ	CO2排出量 [t-CO2]	
		排出量	構成比
スコープ1	直接排出	9,435	0.5%
		(10,812)	(0.5%)
スコープ2	エネルギー起源の間接排出	164,539	7.9%
		(182,781)	(8.3%)
カテゴリ1	購入した製品・サービス	1,601,689	76.5%
		(1,696,683)	(76.7%)
カテゴリ2	資本財	53,335	2.5%
		(37,317)	(1.7%)
カテゴリ3	Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動	15,779	0.8%
		(16,803)	(0.8%)
カテゴリ4	輸送、配送(上流)	22,477	1.1%
		(24,389)	(1.1%)
カテゴリ5	事業から出る廃棄物	2,571	0.1%
		(3,116)	(0.1%)
カテゴリ6	出張	594	0.03%
		(659)	(0.03%)
カテゴリ7	雇用者の通勤	1,926	0.1%
		(2,030)	(0.1%)
カテゴリ8	リース資産(上流)	算定対象外	
カテゴリ9	輸送、配送(下流)	1,995	0.1%
		(2,004)	(0.1%)
カテゴリ10	販売した製品の加工	算定対象外	
カテゴリ11	販売した製品の使用	24,698	1.2%
		(26,883)	(1.2%)
カテゴリ12	販売した製品の廃棄	141,918	6.8%
		(149,665)	(6.8%)
カテゴリ13	リース資産(下流)	34,586	1.7%
		(38,682)	(1.7%)
カテゴリ14	フランチャイズ	算定対象外	
カテゴリ15	投資	算定対象外	
その他	従業員の家庭での電力使用による排出	17,671	0.8%
		(19,370)	(0.9%)
スコープ3	その他の間接排出	1,919,239	91.7%
		(2,017,601)	(91.2%)
合計		2,093,213	100.0%
		(2,211,195)	(100.0%)

※( )内は前年